

もっとアフリカを知り、経済、技術、文化の交流を促進します



# 月刊アフリカニュース

2014年 11月 4日 No. 23

目次	ページ
「モザンビーク選挙結果（速報）」	
アフリカ協会 特別研究員 橋本 栄治	1
「サブサハラ・アフリカにおける韓国の活動」	
—チャッタム・ハウス報告書より—	
アフリカ協会 顧問 堀内 伸介	4
ガボン月報	4
ザンビア経済概況・月報	5
セネガル月報	5
ベナン月報	6
マラウイ月報	7
モザンビーク月報	8
モロッコ政治月報	9

## 「モザンビーク選挙結果（速報）」

アフリカ協会 特別研究員 橋本栄治

2014年10月15日に行われた大統領選挙及び国会議員選挙の結果を現地新聞報道に基づき、要約する。独立40周年を2015年に控え、モザンビークはニュシ新政権が発足する。なお、投票結果については、国家選挙委管理委員会（CNE）が無効票及び不正投票の調査を行ったうえで、国会に報告、その後政府からの公式発表の手順となることから、10月24日現在の速報値と一致しない可能性がある。なお、所感については、筆者の個人的な見解であることをお断りする。

### 1. 大統領選挙はニュシ・フレリモ候補が勝利

大統領選挙運動は、8月31日から開始され、10月15日の投票日を迎えることとなった。

本年 2 月から 3 月にかけて行われた選挙人登録者数は、1220 万人余の当初目標に対して、87.17%にあたる 1063 万人余と報告されており、この票を巡って選挙戦が闘われた。

主要候補者は、与党フレリモ（モザンビーク解放戦線）のニュシ前国防大臣、第一野党レナモ（モザンビーク民族抵抗）ドゥラカマ党首及び第二野党MDM（モザンビーク民主運動）シマンゴ党首であり、三つ巴の選挙戦となった。

投票の結果は表 1 の通り、ニュシ・フレリモ党候補が勝利した。

表 1：大統領選挙結果

候補者名	政党名	得票数	得票率 (%)	前回 2009 年得票率
Felipe Nyusi	フレリモ	2,744,066	57.14	75 (ゲブーザ候補)
Afonso Dhlakama	レナモ	1,747,093	36.38	16
Daviz Shimango	MDM	311,358	6.48	9

今回の大統領選挙は、ゲブーザ大統領の 2 期 10 年のフレリモ党統治後のモザンビークの将来を占うものであり、組織力に優位性のあるフレリモの勝利が予想されていたが、前回 2009 年の大統領選挙では、75%の得票を確保したフレリモが、60%を下回るようになったことは予想外の辛勝ともいえる。これは、ニュシ候補が 55 歳と若く、知名度が低かったこと、また、他の野党 2 候補と比較しカリスマ性に劣ること、未発表ではあるが全体の投票率が低かったことに起因するものと思われる。

また、レナモのドゥラカマ候補の支持がニュシ候補を僅差ながら上回った州が 11 州のうち中部の 5 州に及んだことも、レナモへの支持固めが奏功したことで独立以来 40 年に及ぶフレリモ長期政権への批判が表れたものとみることが出来よう。但し、ドゥラカマ党首は、今次選挙結果については、数々の不正、不透明さを理由に受け入れられない旨、言明（10 月 17 日）している。

一方、MDMのシマンゴ候補は中部ベイラ市長で、若年層を中心に支持が大きいと事前予想されていたが、知名度の低さと若者の政治離れによる投票率の低さが影響し、得票は伸び悩んだ。MDMは国会議員選挙で議員を倍増させたこともあり、シマンゴ党首は、選挙結果を受け入れる旨表明した。

なお、国連パン・ギムン事務総長は、「国内外の選挙監視団は、投票は平和裏に行われたと評価している」旨、声明を発表（10 月 19 日）した。

いずれにしても、ニュシ新大統領は、今回の投票結果、特に前回ゲブーザ大統領が得た支持率から 18 ポイント落ち込んだ自己の支持率と次節で解説するように憲法改正時等に必要 2 / 3 議席を確保できなかった国会議員選挙結果を強く意識しながらの政権運営が求められることになる。

（注：憲法改正等の野党の法規で規定される一部の事項以外は、1 / 2 の賛成票で可決される（憲法 1 8 7 条第 2 項及び第 3 項））

## 2. 国会議員選挙は与党が議席を減らし、過半数維持

同日に行われた 250 議席を争う国会議員選挙の結果は、表 2 の通りとなった。

表 2. 国会議員選挙結果

政党名	得票数	得票率(%)	獲得議席数(現有議席)
フレリモ	2,473,938	57.06	142(191)
レナモ	1,467,289	33.84	89(51)
MDM	394,458	9.1	19(8)

国会議員選挙は、30の政党からの立候補者で争われたが、主要3政党以外の27の小政党からの議席獲得には至らなかった。また、在外有権者88,820人の投票結果に基づいて、2議席がフレリモに加算されている。

与党の大幅議席(49議席)減により、ソファラ州、ザンベジア州、ナンプラ州などでは、野党議員数が与党を上回っており、また、ニアサ州、マニカ州では与野党の獲得議席数が同数であり、野党の国会内での発言力・影響力が高まることは必至であり、前節でもふれたように、ニュシ新政権の国会運営はこれまで以上に慎重なかつ野党の動向に配慮したものとならざるをえないだろう。

### 3. 選挙の課題と今後の予定

今回の選挙は、前年5月頃から続いたレナモの武装グループによる騒擾を政府とレナモの70回以上の対話、その結果としての停戦合意と大赦法の制定によって、ゲブーザ大統領とドゥラカマ・レナモ党首の会談が実現したことにより、投票まで漕ぎ着けることが出来た。

但し、投票に至るまでの期間、選挙運動中の各地での小競り合いなども報道され、全国17010か所の投票所のうちテテ州では22か所(174か所中)が破壊され、投票用紙が焼かれる事件も発生した。また、ナンプラ州アンゴーシェ郡では開票時に停電が発生し、一部の住民がタイヤに火を放つ等暴徒化し負傷者が出た。キリマネ市では、投票結果を取りまとめた用紙が紛失するといった事故・事件もあったようである。特に、識字率の低いカーボ・デルガード州やニアサ州では白票と無効票の数が多く、有効投票数の割合が85%程度であったことは、今後克服すべき課題であり、無効票については、選挙管理委員会が再チェックを行っているとの由である。また、登録有権者数に対して、実際の投票者数が低い結果となったことも、国民の政治参加意識の向上を如何に図っていくのかという課題であるといえる。

議席数を大きく伸ばした野党レナモとMDMが、モザンビークの安定と繁栄のために、健全野党として「国づくり」の政策を立案・提言する責務を全うできるのかどうかも、注目したい。

新政権は、2015年2月に発足し、国会もその時期に召集される予定となっているようだが、公式な発表は国家選挙管理委員会の国会報告以降となる見込みである。

(注：国会議員の任命式終了後大統領就任式が予定されている。)

本年1月の安倍総理の訪問を踏まえて、ODAによる事業が拡大し、民間企業の直接投資の増加など、二国間関係がますます深まる中での大統領選挙と国会議員選挙の結果を所感を交えつつ要約として取りまとめた。

## 「サブサハラ・アフリカにおける韓国の活動」

ーチャタム・ハウス報告書よりー

” South Korea’ s Engagement in Sub-Saharan Africa: Fortune, Fuel and Frontier Markets”

アフリカ協会 顧問 堀内 伸介

10月20日に英国のチャタム・ハウスが上記の報告書を公開している。中国のアフリカにおける活動については、読みきれないほどのニュースや報告書があるが、韓国の活動については、あまり目に触れないので、特別ニュースとしてご報告する。

韓国はルワンダの復興などで積極的な役割を担っていたが、アフリカ沿岸での不法で無秩序な漁業などで評判を落とし、一時その活動は停滞していた。最近、韓国企業の成功の経験を通じてアフリカ諸国の発展に積極的な役割を果たせるとして、韓国の中小企業などのアフリカ進出を政府と大韓貿易投資振興公社、さらには大企業が支援する体制が整えられている。

韓国のサブサハラ・アフリカへの関心は、三分野にあると言える。第一に食糧とエネルギーの安全保障、第二に製造業製品の市場、第三に世界的に影響を持つ大国としての地位の確立、特に北朝鮮の外交に対抗する意味を持つ。韓国政府はこの拡張戦略の中心的な役割を担っている。韓国・アフリカフォーラム、韓国・アフリカ経済協力、韓国・アフリカ工業協力フォーラムなどが、その場を提供している。

韓国のアフリカへの輸出は、2000年—2011年の間に5倍に増加しているが、まだ、韓国の総輸出の2%に過ぎない。また、韓国の輸出相手は、リベリア、ナイジェリア、南アフリカ等数ヶ国に限られている。

アフリカ諸国は二国間関係の拡大を図っており、すでに19ヶ国が外交団をソウルに置いており、モザンビークとタンザニアが近々大使館を設置することになっている。

[http://www.chathamhouse.org/sites/files/chathamhouse/field/field\\_document/20141021DarracqNeville.pdf](http://www.chathamhouse.org/sites/files/chathamhouse/field/field_document/20141021DarracqNeville.pdf)

### ガボン月報 (2014年9月)

#### 【内政】

- 通常国会の開会
- 日・ガボン協力：バイオマス研修に係るアトリエ開催、
- アリ・ボンゴ大統領による社会住宅建設現場視察、

#### 【外政】

- アリ・ボンゴ大統領によるチュニジア公式訪問、
- アリ・ボンゴ大統領のニューヨーク・フォーラム出席、
- アリ・ボンゴ大統領による国連第69回総会一般討論演説、

#### 【経済】

- ジュンヌ・アフリックは、2013年の各社売り上げを基に、ガボン国内企業トップ30を発表。
- ガボン経済の国際競争力上昇 サブサハラ域内1位、
- スタンダード&プアーズ格付け「ガボン BB- / B」、
- CEMAC発表：2014年予測経済成長率 ガボン7.1%、

[http://www.ga.emb-japan.go.jp/pdf/gabon\\_geppo/gabon\\_geppo\\_092014.pdf](http://www.ga.emb-japan.go.jp/pdf/gabon_geppo/gabon_geppo_092014.pdf)

### ザンビア経済概況・月報（2014年9月）

1. ザンビア中央銀行、価格及び為替レートの安定化に注力、
2. アフリカ開発銀行、中小企業向けの150万米ドルの拠出を承認、
3. ザンビア政府、インデニの出資パートナーを募集中、
4. ザンビア、サブ・サハラアフリカ内の最も競争力のある経済国トップ10以内、
5. 鉱物マッピング作業は進捗、
6. ザンビア中央銀行、流動性要件の緩和を開始、
7. ザンビア歳入超、40億クワチャの還付を保留、
8. ザンビア経済の見通しは明るいーヤンバ財務官、
9. ザンビアのインフレ率、9%と予測、
10. ヤルマ大臣「鉱山プロジェクトには環境影響アセスメントが不可欠」、
11. マクロ経済指標、

<http://www.zm.emb-japan.go.jp/ja/keizai/Macro.Report.9.2014.pdf>

### セネガル月報(2014年9月)

#### 【内政】

- エボラ出血に感染していることが確定したギニア人学生の検査結果は陰性となり、19日、同患者は空路でギニアに帰国した。また、接触者74名の21日間にわたる観察期間は18日24時をもって終了し、当国におけるエボラ出血熱の二次感染者発生の恐れはなくなった。
- 8日-9日、カリム・ウッド元大臣が航空運輸相を務めていた際の不正資金取得への関与を疑われているンバイ・ンジャイ元セネガル空港局(ADS)局長が出廷し、容疑を否認。
- 27日、サル大統領は与党APRの集会において、選挙時の公約である大統領任期の7年から5年への短縮を実施する意向を表明したものの、時期については2015年内に実施されることはない旨述べた。

#### 【外政】

- 3日-4日、北京で第2回中国・セネガル合同委員会が開催された。
- 11日-13日、ジラルダン仏外務・国際開発大臣付開発・フランコフォニー担当相及びポガム仏開発庁(AFD)総裁のセネガル訪問。

- 25 日、ンジャイ外相は第 69 回国連総会において一般討論演説を行った。
- 28 日、世界食糧計画（WFP）西アフリカ担当スポークスマンは、エボラ出血熱対策のための人道物資・要員等の国境通過措置が 27 日より開始され、ダカールからコナクリ（ギニア）に医療チームを輸送するための航空機が出発した旨明らかにした。

#### 【経済】

- 18 日ニヨン青年・雇用・市民組織相は、若者 50 万人の雇用を実現するというサル大統領就任時の公約に関し、当初の目標を大幅に上回る成果が見込まれる旨明らかにした。
- 23 日、サル大統領は長距離自動車ターミナル・ガラージュ・ボンピエ跡地に 10 階建てビル 17 棟を 2 年以内に建設する「新興都市（la cite de l'emergence）計画」の着工式に出席した。
- セック・エネルギー相は、センドゥ火力発電所等の稼働により 200 メガワットの電力の供給増が見込まれることから、2015 年末までに電気料金の引き下げを目指す意向を明らかにした。

<http://www.sn.emb-japan.go.jp/pdf/jp/sn/geppou1409.pdf>

### ベナン月報（2014 年 9 月）

#### 【内政】

- 8 月 31 日、ナゴ国民議会議長が自身の選挙基盤であるボパ市で開かれた集会において、ヤイ大統領を批判する旨の演説を行った。
- 15 日、本年始めより 6 月まで大規模に実施されたストライキに関し、労働組合側は、労働組合側の要求に政府が満足に対応していないとして、再度労使交渉を開始した。
- 21 日、ウンベジ野党政党 PRD 代表は、民放テレビで、このまま恒久電子化選挙人名簿（LEPI）改訂が行わなければ、地方選挙どころか 2015 年 3 月に予定されている国民議会選挙も実施されない可能性が高い旨訴えた。

#### 【外政】

- 3 日、イスフ・ニジュール大統領がベナンを訪問し、ヤイ大統領と会談した。両者は、コトヌ・ニアメイ間鉄道整備計画を促進していく旨合意した。

#### 【経済】

- 13 日、ここ数ヶ月ベナンの関税収入が減少していることを受け、クチェ（M.Komi KOUTCHE）経済・財務・民営化大臣が、ベナンの主要関税収入源となっているナイジェリア国境のセメ・クラケ及びトーゴ国境のヒラコジを訪問し、税関職員に対する努力喚起を行った。
- 22 日、中国がエボラ対策として 4 億 2300 万 FCFA を供与することを決定し、タオ駐ベナン中国大使及びバコ・アリファリ外相が署名式を実施した。

<http://www.bj.emb-japan.go.jp/j/pdf/geppo%20201409.pdf>

## マラウイ月報（2014年9月）

### 【内政】

- ゲートルード大統領夫人、国内の清掃のための基金、“Beautify Malawi Trust”を設立。
- マラウイ政府、南ア・パラマウント社との武器購入契約を取り消し。
- バンダ前大統領、2019年大統領選挙出馬への意欲表明。

### 【外政】

- ムタリカ大統領、第69回国連総会のため訪米。
- チリマ副大統領、農業施設等視察のためイスラエルおよび南ア訪問。
- 中国による2014年アフリカ女性セミナーの開催。
- チリマ副大統領、SADCサミットに参加。

### 【経済】

- 変動相場制の継続、
- 2014/15年度国家予算7370億クワチャの国家予算案が国会を通過。
- 今年19県にて64.9万人が食糧不足予測。
- マラウイ開発銀行の設立計画、
- 世銀支援による空中物理探査事業の進捗、
- ンサンジェ内陸港計画モザンビーク及びザンビアとMOUを締結。
- ブラザー工業製品の当地販売開始、11日、日本のブラザー工業が当地エレクトカード・システム社とパートナー契約を結び、当地での製品販売を開始。
- 投資に関するワンストップサービスセンターの運営開始。
- 2013年度経常収支の赤字拡大、4473億クワチャの赤字見込み、
- 日本政府による支援 18日、西岡駐マラウイ日本国大使は、第2次中等学校改善計画にて完成した中等学校の引渡を行った。引き渡された施設には、教室棟、管理棟、厨房棟、図書棟、女子寮、教員住宅等が含まれる。また、西岡大使は22日、1,500万クワチャのムワンザ県病院整備計画の贈与契約、23日には4,450万クワチャのマンガチ県安全な水供給計画の贈与契約に署名。
- 今年の葉タバコ取引終了、
- 米国のチャリティー団体であるビルディング・トゥモローは職業訓練校設立への支援予定。
- 効果的な開発協力に関するグローバル・パートナーシップ、
- ソングウェにおけるレアアース探査事業の進捗、
- 政府によるゼロクーポン債発行計画、

[http://www.mw.emb-japan.go.jp/JapaneseSite/20141020\\_malawi\\_geppo.pdf](http://www.mw.emb-japan.go.jp/JapaneseSite/20141020_malawi_geppo.pdf)

【内政】

- ゲブーザ大統領とドゥラカマ・レナモ党首による停戦合意署名、
- 停戦合意の国会承認、レヴィ法相は、本件法律の実施には年間約 5.4 億メティカル（約 1800 万ドル）を要することを明らかにすると共に、本合意により、即時の停戦とレナモの武装解除、レナモ武装員の社会経済活動及び国防軍と警察への統合プロセスが開始。
- 4 日、マカモ国会議長は、水谷駐モザンビーク日本国大使との面談後の記者会見で、日モ両国の国会間の協力関係の礎を構築するため、日本の国会との覚書署名に向けての関心を表明した。両国議会における制度・運営方法の相違を認めつつも、マカモ議長は、覚書により、モザンビークの国会議員が日本の議会から種々学ぶことが出来ることを強調した。マカモ議長は更に、日本のような国々の議会には我々が未だ有していない運営の長所があり、両国の関係者の間に意思があれば、双方の経験を相互に一層活用出来るかと付言。

【外交】

- バロイ外相の国連一般総会演説、

【経済】

- 主要経済指標、
  - ・名目 GDP：142 億米ドル (2012 年世銀)
  - ・GDP (1 人あたり)：565 ドル(2012 年世銀)
  - ・GDP 成長率: 7.5% (2014 年第 1 四半期国家統計局)、なお、“The Economist”によると 2013 年は 7.1%
  - ・インフレ率：2.46%(2014 年 6 月世銀)
  - ・消費者物価指数(2010 年 12 月=100 とした場合): 2012 年 6 月 105.60、2013 年 6 月 111.73、2014 年 6 月 113.78、なお、国家統計局によると、マプト、ベイラ、ナンプラ 3 都市における 8 月の物価は、前月比 0.55%低下している。一方、2013 年 8 月の物価と比べると、2.64%上昇。
  - ・対外取引指標：輸出額 43 億ドル、輸入額 86 億ドル
  - ・経常収支赤字：11 億ドル(2014 年第 1 四半期・中銀)
- フェルナンド・モザンビーク電力公社 (EDM) 総裁更迭、新総裁はギルド・シブンベ氏。
- 中国が投資したモザンビーク国内初の自動車組み立て工場により、自動車「マジェジ」販売開始。

<http://www.mz.emb-japan.go.jp/1409.pdf>



## モロッコ政治月報（2014年9月）

### 【内政・政局】

1日－20日、国勢調査の実施。

### 【外交・国際関係】

16日、第2回シリアにおける外国人戦闘員に関する非公式会合の開催。

17日、ラバトにて、第5回モロッコ・ロシア合同委員会の開催。

25日、国連総会において、ベンキラン首相がモハメッド6世国王演説を代読。

演説の中でモハメッド6世国王は、発展途上国に対する西洋諸国のアプローチを、それぞれの途上国の独自性を考慮に入れずに西洋的發展モデルを押しつけるものであるとして強く批判。また国王は、アフリカ諸国に必要なのは人道的支援よりもむしろ相互に利益をもたらすパートナー・シップであると主張。アフリカ諸国がアフリカ自身を頼りにする必要があると強調しつつ、モロッコがガボンと締結した肥料の生産・調達にかかる戦略的協定を例示した。

<http://www.ma.emb-japan.go.jp/pdf/seijigeppo/Seijigeppo201409.pdf>